

暮らしのCO₂ダイエット

(環境家計簿)

取組み結果報告書

平成26年5月

アジェンダ21すいた エネルギー部会

1. 暮らしのCO₂ダイエット（環境家計簿）とは

（1）概要

地球温暖化対策の一環として、環境家計簿を活用し、環境に配慮したライフスタイルを実践することで、家庭からの二酸化炭素（化学式では、CO₂）の排出抑制を図ることを目的とするものです。

吹田市では、平成15年度から平成17年度の3年間は、大阪府と協働でおおさかエコアクション（環境家計簿）を実施しました。平成18年度からは、アジェンダ21すいたエネルギー部会の事業として、「暮らしのCO₂ダイエット」と題して、吹田独自の環境家計簿に取り組んできました。

（2）平成25年度の経過 **（資料1）**

市報や市のホームページなどで、暮らしのCO₂ダイエット参加を呼びかけ、希望者に対して、地球温暖化の現状や環境に配慮したライフスタイルの実践方法、環境家計簿の記入方法などの説明を行いました。

また、平成25年4月20日（土）にメイシアター集会室で開催された「吹田みどりのカーテン講座」や、8月3日（土）に浜屋敷（吹田市歴史文化まちづくりセンター）で開催された「水循環フェア」において、参加チラシの配布等を行いました。

（3）エコプレス発行

関西大学 経済学部 良永ゼミの学生が中心となって、暮らしの中の省エネや環境問題に関する情報提供を目的に、ニュースレターを発行しています。

（年4回 1月・4月・7月・10月）

資料1 平成25年度の経過

日 時	内 容
4月15日(月)	エコプレス 4月号 発行 (編集：関西大学 良永ゼミ)
4月20日(土)	吹田みどりのカーテン講座内で暮らしのCO ₂ ダイエットについての説明をし、参加者を募集 【場所：メイシアター集会室】
7月 1日(日)	市報、ホームページにおいて、暮らしのCO ₂ ダイエット参加者を募集
7月15日(日)	エコプレス 7月号 発行 (編集：関西大学 良永ゼミ)
8月 3日(土)	水循環フェアにて、暮らしのCO ₂ ダイエット参加者を募集
10月15日(月)	エコプレス 10月号 発行 (編集：関西大学 良永ゼミ)
1月15日(火)	エコプレス 1月号 発行 (編集：関西大学 良永ゼミ)
3月末	暮らしのCO ₂ ダイエットの提出
(平成26年度) 4~5月	暮らしのCO ₂ ダイエットの集計

2. 参加世帯の状況

(1) 参加世帯数

322世帯の参加申込みのうち、暮らしのCO₂ダイエットを提出していただいたのは、201世帯で、提出率は62%でした。

ここからは、提出いただいた世帯の取組状況をまとめたものをお示しいたします。

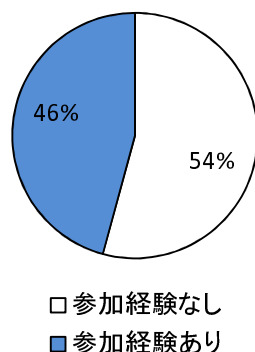
(2) 参加者の内訳

平成25年度暮らしのCO₂ダイエットの参加者の内訳は資料2のとおりで、約54%の方が初めて取り組まれました。

(3) 世帯人員別世帯数

世帯の割合は資料3のとおりで、4人世帯が最も多く、全体の26.9%を占め、ついで、2人世帯が23.4%、3人世帯が18.4%を占めていました。

資料2 参加経験



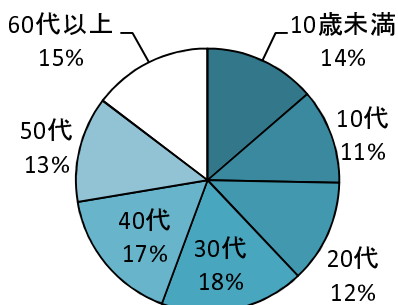
資料3 世帯人員数とその割合

人員	世帯数	割合
1人	28	13.9%
2人	47	23.4%
3人	37	18.4%
4人	56	27.9%
5人	22	10.9%
6人以上	5	2.5%
記入なし	6	4.0%
合計	201	101.0%

(4) 参加世帯の家族の世代構成

家族の世代構成は、資料4のとおりでした。30代以上が最も多く、全体の18%を占めていました。

資料4 参加世帯の家族の世代構成



3. 暮らしのCO₂ダイエット記録表

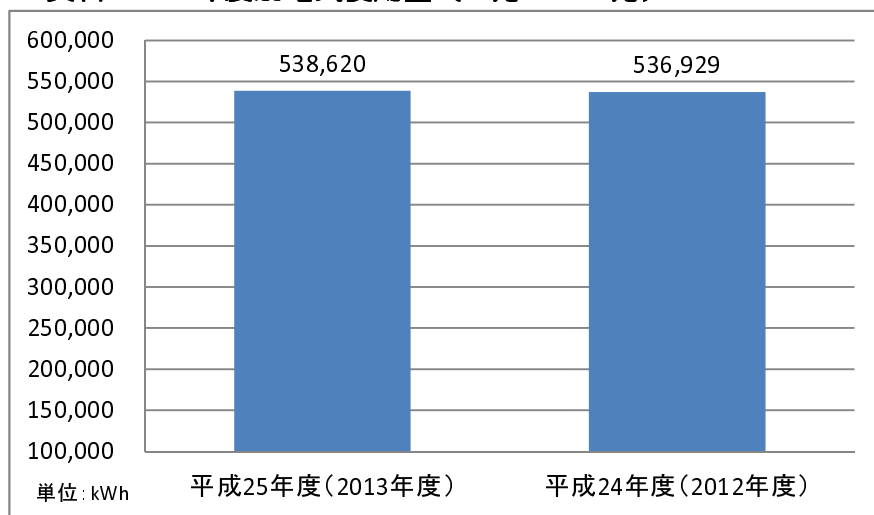
(1) 電気

暮らしのCO₂ダイエットを提出いただいた201世帯のうち、当年度（平成25年度）、前年度（平成24年度）とも7月から翌2月まで電気使用量の記入があったのは、170世帯でした。

この世帯の取組み期間中の電気使用量の合計を年度別に比較すると、平成25年度が538,620 kWh、平成24年度が536,929 kWhで、約0.3%増加となりました。（資料5）

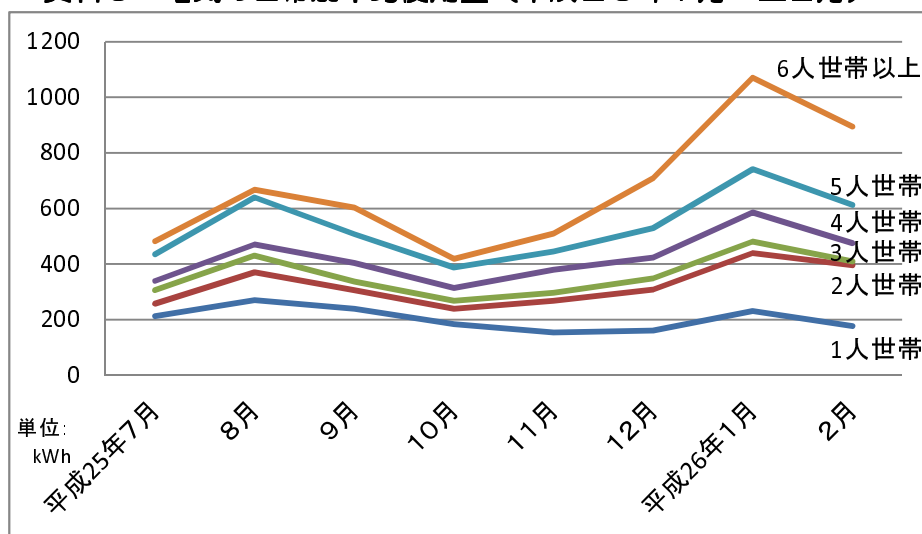
これは、二酸化炭素に換算すると約0.8 t-CO₂の増加となります。

資料5 年度別電気使用量（7月～翌2月）



また、各世帯別の平均使用量（平成25年7～翌2月）は、資料6のとおりです。

資料6 電気の世帯別平均使用量（平成25年7月～翌2月）



(2) ガス

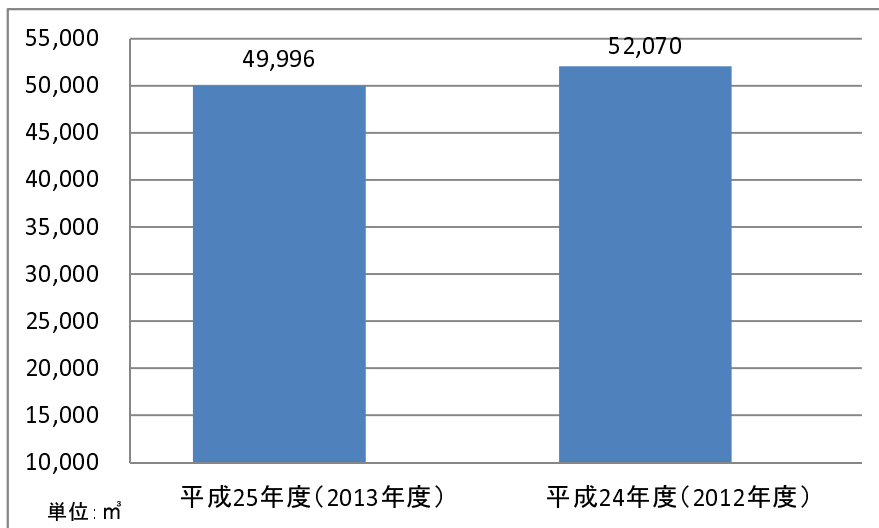
暮らしのCO₂ダイエットを提出いただいた201世帯のうち、当年度（平成25年度）、前年度（平成24年度）とも7月から翌2月までガス使用量の記入があったのは、147世帯でした。

この世帯の取組み期間中のガス使用量の合計を年度別に比較すると、平成25年度が49,996 m³、平成24年度が52,070 m³で、約4.0%削減となりました。

(資料7)

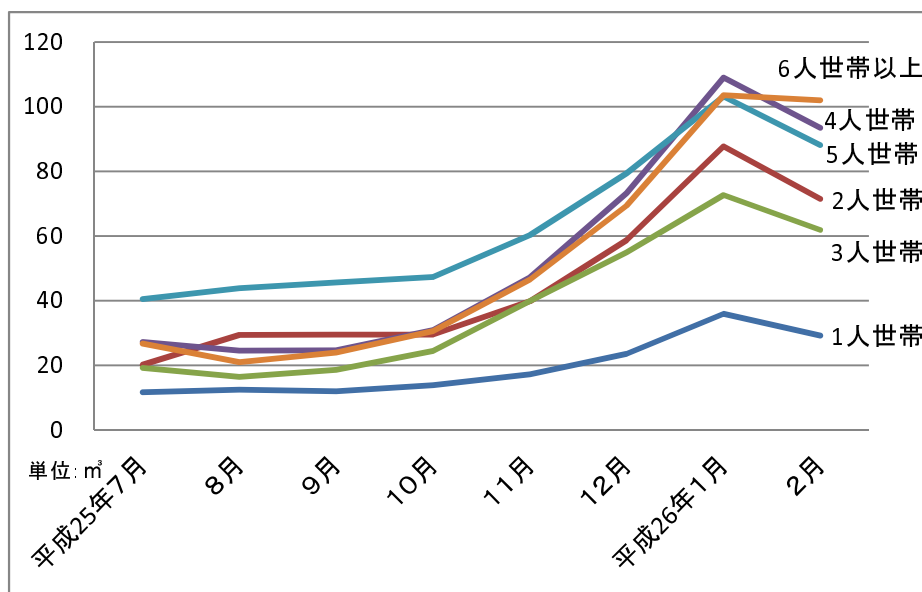
これは、二酸化炭素に換算すると約4.8 t-CO₂の削減となります。

資料7 年別ガス使用量（7月～翌2月）



また、各世帯別の平均使用量（平成25年7月～翌2月）は資料8のとおりです。

資料8 ガスの世帯別平均使用量（平成25年7月～翌2月）



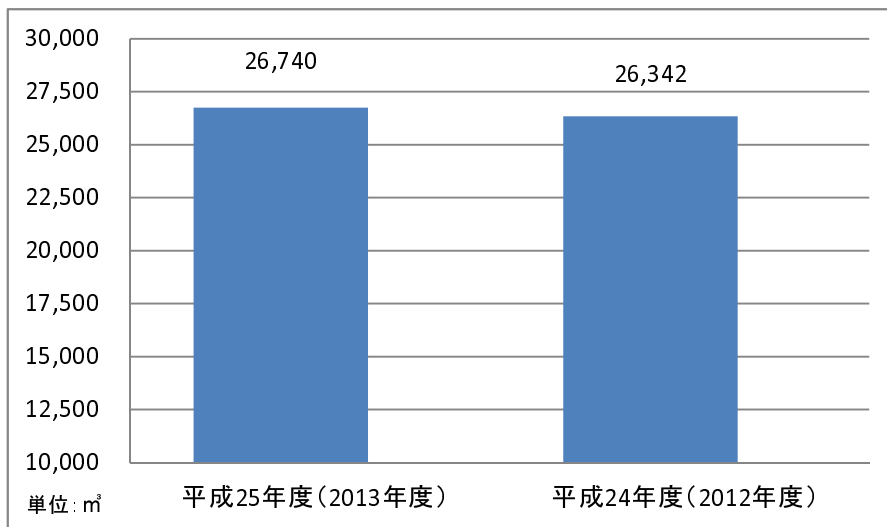
(3) 水道

暮らしのCO₂ダイエットを提出いただいた201世帯のうち、当年度（平成25年度）、前年度（平成24年度）とも7月から翌2月まで水道使用量の記入があったのは、143世帯でした。

この世帯の取組み期間中の水道使用量の合計を年別に比較すると、平成25年度が26,740m³、平成24年度が26,342m³で、約1.2%増加となりました。（資料9）

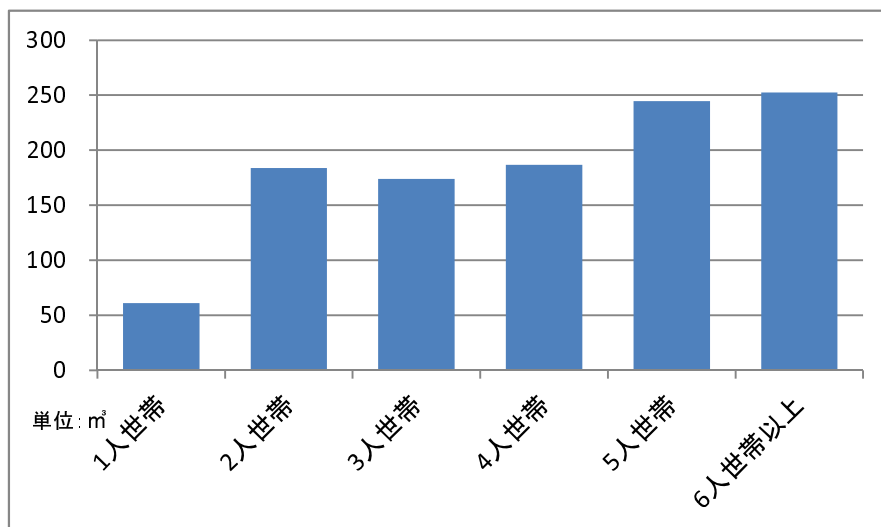
これは、二酸化炭素に換算すると約154kg-CO₂の増加となります。

資料9 年別水道使用量（7月～翌2月）



また、各世帯別の平均使用量（7月～翌2月）は資料10のとおりです。

資料10 水道の世帯別平均（使用量）（平成25年7月～翌2月）



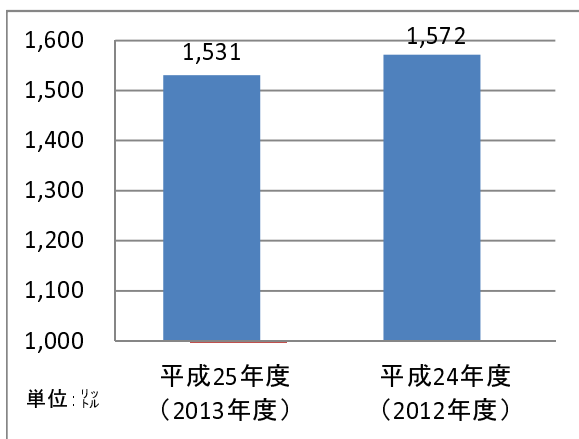
(4) 灯油 ・ ガソリン

暮らしのCO₂ダイエットを提出いただいた201世帯のうち、当年度（平成25年度）、前年度（平成24年度）とも7月から翌2月まで灯油使用量の記入があったのは、11世帯で、この世帯の取組み期間中の灯油使用量の合計を比較すると、平成25年度が1,531㍓、平成24年度が1,572㍓で、約2.6%削減となりました。（資料11）

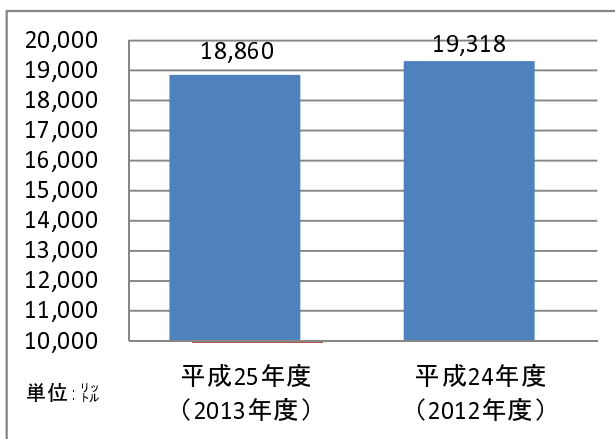
また、当年度（平成25年度）、前年度（平成24年度）とも7月から翌2月までガソリン使用量の記入があったのは、46世帯で、この世帯の取組み期間中のガソリン使用量の合計を比較すると、平成25年が18,860㍓、平成24年が19,318㍓で、約2.4%削減となりました。（資料12）

灯油記入者19世帯、ガソリン記入者91世帯の平成25年月別の平均灯油・ガソリン使用量は資料13のとおりです。

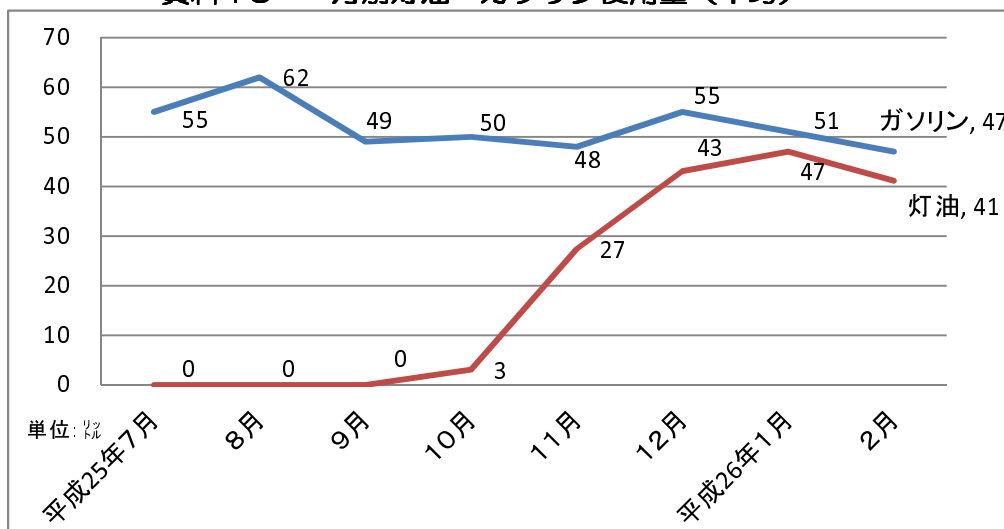
資料11 年別灯油使用量
(7月～翌2月)



資料12 年別ガソリン使用量
(7月～翌2月)



資料13 月別灯油・ガソリン使用量 (平均)



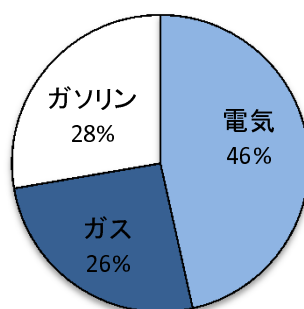
(5) 3項目（電気・ガス・ガソリン）の使用に伴うCO₂排出割合

電気・ガス・ガソリンの3項目を記入していただいた方（81世帯）について、3項目の各々の合計をCO₂に換算しました。

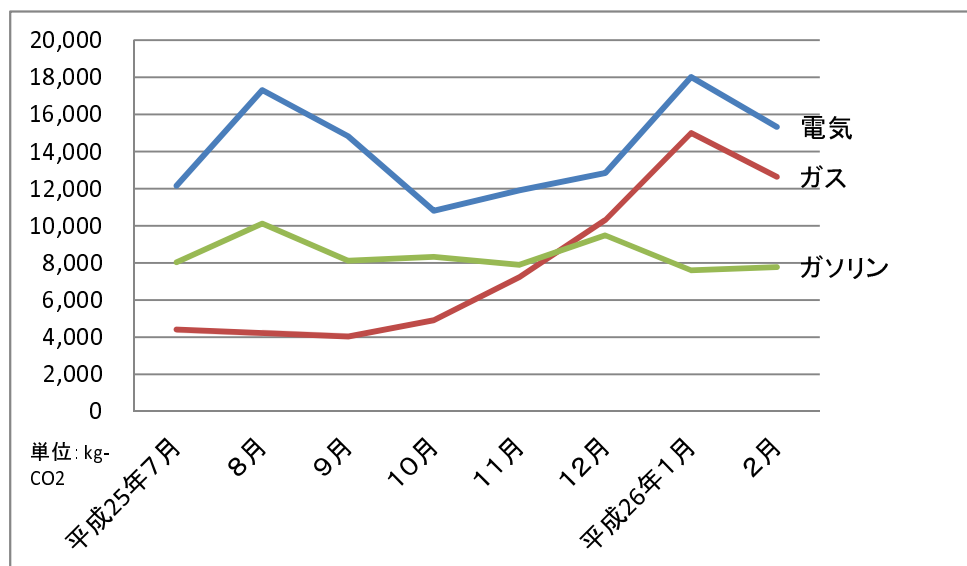
その結果、平成25年度のエネルギー使用によるCO₂の排出要因は電気が約46%、ガスが約26%、ガソリンが約28%を占めていました。（資料14）

また、電気・ガス・ガソリンの3項目の月ごとのCO₂排出量は図15のとおりです。

資料14 CO₂の排出要因



資料15 電気・ガス・ガソリンのCO₂排出量



(6) 総括

今回の取組みの結果、電気・ガスを合わせたCO₂排出量は前年度に比較して、約4 t - CO₂減少しました。昨年は、全国的に猛暑・厳冬でしたが、初めて取り組まれた世帯が全体の半数以上であったこともあり、冷房や暖房の使用を控えるなど節エネ・省エネの取組が進んだものと考えられます。

皆さんも環境家計簿をつけて（暮らしのCO₂ダイエットに参加して）ライフスタイルを見直してみませんか。

(7) 取り組まれた方の感想等

- ・日々無駄を省く様に意識すると少しずつ、結果も出るものだと実感しています。
- ・細目にスイッチを切るなど行った。気候（自然）には工夫して対処した。
- ・節エネ省エネにはずっと意識を持って生活しているつもりでしたが、数字で確認出来て良かったと思います。
- ・寒い冬、オール電化なので節電に苦労しました。
- ・夏の暑さは冷房なしでも過ごせたが、今年の冬の寒さには毎日暖房が必要で、夏より冬の方が2倍の電気量消費となった。エネルギーはその年の気象状況により、大きく左右される。
- ・エネファームを導入することで使用電力量、ガス量をこまめにチェック出来無駄な電力を使わないように注意した。家族にも注意を喚起した。
- ・普段あまり気に留めず、支払っていたのでいい機会になりました。
- ・省エネに対する意識は以前からもっておりましたが、結局、使用量は気温に大きく左右されることが分かりました。料金は、消費税や再生可能エネルギー賦課金等、努力に無関係の部分もありますので、来年度は本体価格のみで前年比較すればよいと思います。
- ・電気もガスも値上げになり、前年と使用量が同じでも支払料金は増え、家計の負担が重くなっています。家計のためにも使用量を減らしたいと思いました。
- ・灯油ストーブから電気ストーブ及びエアコンに変えたことにより電気代がかなり上がった。
- ・自分で記録することによって見えなかったものが可視化され環境に配慮する意識が高まった。
- ・今後も節エネ・省エネを意識して生活していきたいと思います。
- ・暮らし方を見直すいい機会になっていると思います。
- ・一年間の光熱水費を調べる機会となり、生活を振り返る事ができた。
- ・昨年は意識して取り組んだが今回は、いつもの様、普段通りの節電生活でしたが暑さ・寒さには勝てませんでした。
- ・何年間かエコに取り組んで来ましたが、風呂の水は洗濯、植木の水やり、夏は窓辺にゴーヤでみどりのカーテンetc色々節約して来ましたが、もったいないが口ぐせになりました。今後共エコにつとめてゆくつもりです。
- ・電気を使用した製品が多く、待機電力など節約する必要があると思う。
- ・全く見えなかったエコが使用量の記入ということでおもしろい現実となった。簡単で且つおもしろかった。
- ・思春期の子供がいると光熱水費の削減はなかなか難しいです。来年は消費税分は減らせるよう頑張りたいと思います。
- ・いつもご苦労様です。これを気に、環境に対する意識を高く持ちたいと思いました。
- ・H24年12月に太陽光発電をしました。夏は日中エアコンをつける日が多かったのですが、自家発電で電気代がおさえられています。
- ・省エネ家電を購入して、省エネに努めようと徐々に購入して行っています。
- ・出産や里帰りで人数が増減したので、前年度との比較がしにくいですが、月々の使用量やエコ活動に気を配るようになり、良いきっかけになったと思う。
- ・実施してみて意識が高くなりました。普段の生活に於いて出来るだけ付加価値を付けようとせず目的に沿った利用を心がけるようにしたいと思いました。
- ・改めて数値、金額で確認してみると家庭の光熱費、環境への配慮がよく分かってよかった。
- ・環境家計簿をつけながら実際の使用量を意識することで、省エネの必要性を実感することができ、よかったです。
- ・光熱費がとても高くなっていることが、今回改めてわかりました。今後もう少しエコに取り組みたいと思います。
- ・昨年、引越しをして床面積が広がった分、電気・ガス使用量も全体的に増えています。今回の結果を受けて、使い方を工夫できる点はないか見直していきたいと思います。